

川崎市議会

2021年(令和3年)第1回定例会
 予算審査特別委員会 質疑

東日本大震災の発生から10年目の3月11日、命と暮らしを守るため市議会定例会の予算審査特別委員会で山田議員は6項目にわたり質問をいたしました。



震災伝承 命最優先を

耐震化へ粘り強く推進

▶山田議員の防災の原点ともなった阪神大震災では、死者約5500人のうち約9割が建物倒壊によるもの。そこで、被害が集中した旧耐震基準の木造住宅に対し耐震診断士の派遣と改修助成制度を提案。市は、平成17年度より同制度を導入、これまでに木造住宅耐震診断士派遣を約5,100件、改修助成を約910件に対応、平成15年度比で耐震化率25ポイント上昇の86.9%を達成しました。しかし、約2万800戸の耐震不足の木造住宅が残ることから自力での改修が困難な方への対応を質問。市は助成制度の補助率の見直しや建築士を派遣し改修だけでなく将来の暮らし方や自宅の活用方法など、幅広く相談に応じたいと回答しました。



写真提供／神戸市

脱炭素社会構築へ

再エネを主力電源に

▶山田議員は、脱炭素社会に向けた、かわさきカーボンゼロチャレンジ2050を質問。市は、2050年に市の事業を再エネ100%で賄い、市役所全体のCO2排出量約40万トンに対し約14万トンの削減効果を見込むと回答。市には再エネ電力の供給源として市の廃棄物発電や民間のバイオマス発電等があり、地域新電力会社の活用について質問。市は導入した場合に、公共施設だけでなく、地域への安定供給に繋がり脱炭素社会実現に向けた取組みを推進できると回答しました。



令和5年度竣工 廃棄物発電所を有する橋処理センター

多摩川の魅力を発信

丸子橋 今夏社会実験を実施

▶山田議員は、多摩川河川敷の利用について適正な管理が必要と平成16年6月議会に二子橋付近の駐車場管理やバーベキュー広場の民間活用について提案、利用者の利便性向上やごみの不法投棄等の課題解決を実現してきました。近年では、丸子橋付近のバーベキュー利用でも同様の課題が生じており、二子橋同様の運営を提案してきました。市は丸子橋について二子橋を参考に本年夏頃に管理型バーベキューをはじめとしたウォーターイベントの社会実験を実施したいと答えました。



コロナ禍 感染防止対策をとる 二子橋バーベキュー広場



令和元年度 10万人超が利用した同所

特別支援教育の現状

▶山田議員は、障がいのある子どもの学びの場について一人一人の教育的ニーズに的確に応える指導体制が必要と現状を質しました。市は児童生徒数について、小学校で1976人、中学校で800人が在籍、担当する教員の50%程度が担当経験5年未満であり、特別支援学校教諭免許状保有は約60%と答えました。山田議員は特別支援学級の実態から教師の負担軽減策として民間事業者の支援メニューの活用を質しました。教育長は今後、試行的に導入を検討すると答えました。

墓所の循環利用を推進

小区画一般墓所 11月に募集

▶山田議員は人気の高い緑ヶ丘霊園に対し市民に安定供給できるよう墓所の循環利用を提案、無縁化墓所等の整備をしてきました。その結果、平成18年の一般墓所の応募倍率が約600倍あったものが、令和元年度には、提案した合葬型墓所の建設等により249か所の墓所返還に繋がり再募集が可能となりました。また、本年11月には、小区画一般墓所(約1㎡)約400基の募集も計画されています。



令和元年度 供用開始した合葬型墓所

街路樹施策に提言

新たな協働の仕組みづくりを

▶山田議員は、市の街路樹がケヤキやイチョウといった高木が多く用いられ、落葉時期の清掃活動が地域に大きな負担となっていること、また市の管理計画に落葉対策が欠如していることなどを指摘、地域の高齢化等の実情に配慮した協働のあり方を質しました。市は、落ち葉清掃について基本的に市民にお願いをしているが、住民の高齢化等から協働の取組みが難しい状況も伺っており、区役所と連携し課題解決に向け検討すると回答。そこで、街路樹の維持管理について市民が参加しやすい協働の仕組みづくりとして草花を活用した魅力あるグリーンベルトへの転換を提案。市は植樹料を活用し協働の取組みに参加しやすい仕組みづくりを検討すると答えました。



●●晴ればれレポート●● コロナワクチン接種について

新型コロナウイルス接種について

実施時期：令和3年2月17日から令和4年2月28日まで
 (市民向け接種は令和3年4月12日から)

接種にあたって：①医療従事者等 ②高齢者 ③高齢者以外で基礎疾患を有する方
 高齢者施設等の従事者 60歳から64歳の方 ④それ以外の方

接種券の発送：●75歳以上の方4月20日(火) ●65歳から74歳の方4月28日(水)

対象者：接種日に16歳以上の方 接種日に川崎市に住民登録のある方

接種回数：2回接種します
 (1回目の接種から3週間後に2回目の接種を受ける)

接種費用：無料です

問合せ先：川崎市新型コロナウイルス感染症コールセンター
 (受付：24時間)
 電話番号：044-200-0730
 FAX番号：044-200-3928



山田はるひこの晴ればれ市民相談 お気軽にご相談ください!

TEL 044(788)1858 FAX 044(788)2695



Q> 山田はるひこ 検索